

令和6年度 北九州市高齢者支援と介護の質の向上推進会議  
認知症施策推進に関する会議(オレンジ会議) 会議録

1 開催日時

令和6年12月19日(木) 19時00分~20時30分

2 開催場所

北九州市総合保健福祉センター2階 講堂

3 出席者等

(1) 構成員

石田構成員、伊藤構成員、今村構成員、岡構成員、木戸構成員、寒川構成員、  
榎木構成員、高砂構成員、長森構成員、野村(尚)構成員、野村(美)構成員、  
藤永構成員、堀田構成員、前田構成員、安田構成員

(2) 事務局

地域共生社会推進部長、計画調整担当課長、地域支援担当課長  
認知症支援・介護予防課長、長寿社会対策課長、介護サービス担当課長

4 議事の概要

- (1) 北九州市しあわせ長寿プランの推進について
- (2) 認知症施策推進に関する取組み
- (3) 難聴(ヒアリング・フレイル)啓発の取組みについて
- (4) 認知症施策推進基本計画について

5 会議経過(発言の内容)

議事(1) 北九州市しあわせ長寿プランの推進について …資料1

事務局 議事(1)から(4)について、資料に沿って説明

代表 説明のあった4つの議事について、ご意見をいただきたいと思います。

構成員 難聴啓発への取組について、町内の独居の方や心配な方などに難聴に関するパンフレットを配布していたという話を伺いました。非常に良い取組

みだと思いました。

社会福祉協議会、町内と連携を取りながら、直接配布することは、一番わかりやすいと思います。そこを少し掘り下げて行かれたらどうかと思いました。予防的なところも十分できるのではないかと思います。

**構成員** 難聴についてですが、補聴器は3万円程度から10万円以上とピンキリ。違いは何でしょうか。また、補聴器の補助金があると思うが、安価な補聴器でも認知症予防ができるというエビデンスがあれば教えてほしいです。

**事務局** 補聴器は医療機器に属し、聞こえの特徴に合わせて調整できるチャンネルの数によって値段の差が出ると思われます。また、補聴器は、聞こえが悪い音域のところだけを調整できるという意味では、安価なものでも、それなりの効果があると聞いています。

補聴器購入にかかる助成制度については、北九州市は行っていませんが、身体障害者手帳を取得している方へ補装具として補聴器を支給する制度はあります。これは、身体障害者手帳の聴覚障害がある方が基本となります。

障害の程度によって重度難聴用、高度難聴用の支給となります。

**構成員** 聴覚障害のある方は、北九州市内でどのくらいいるのですか？

**事務局** 確認します。

聴覚障害者の数は R6.3 月末時点で 4,289 人

**代表** 言語聴覚士の市の職員はどれくらいいますか。

**事務局** 市には地域リハビリテーション推進課に 2 名います。

**構成員** 難聴の取組ですが、出前講座はとてもいいと思いました。自分だけ検査へ行けと言われるよりも、町内みんなで検査を受ける方が、受けやすいのかなあと、私もお願いしようかと思いました。

補聴器は高額なのに、結局合わないから使わないという方がたくさんいます。補聴器センターや市の言語聴覚士の方のところなどで、フィッティングなどを繰り返し利用できればいいなと思います。

**事務局** 補聴器のフォローアップにつきましては先ほどお配りしましたパンフレ

ットに記載しているとおり、かければすぐに見えるようになる眼鏡とは異なり、聞き取れるようになるまでには、補聴器をつけて音に慣れるまでのリハビリ期間が必要です。このリハビリには数週間から 3 ヶ月程度、調整にかかるようです。

できるかぎり、調整を行う認定補聴器技能者が在籍する店舗での購入等を啓発していきたいと考えています。

**代表** 難聴については、医学的な見地として、医師会の先生、専門的なお立場から補足等はありませんでしょうか。

**構成員** 難聴は、言葉として音は聞こえているけれど、それが言葉としてうまく理解できないという、語音明瞭度、しゃべる言葉ですね、その問題が指摘されています。音が聞こえればいいという問題ではない。集音器として音が入っても、雑音も一緒に入ってきてしまい理解できないというのはあろうかと。一般的には、補聴器自体は周波数とか悪いところを調整してもらい、これを聞こえるようにしてもらおうということです。

あまり高級なものでなく、紛失しにくい大きなもので使い勝手のいい方がいいのではないですか、ということをお私としては伝えています。

**代表** 専門の医療機関を受診してということでもあります。今後ヒアリングフレイルについては、しっかりと普及啓発を進めていただきたいと思います。その他ございませんか。

**構成員** 町内で配布しているチラシについて補足説明です。

このチラシは、社会福祉協議会の職員が作ってしまっていて、各地域の中で、一人暮らしの高齢者、ちょっと気になるご家庭に、見守り活動されている民生委員さんや、福祉協力員という、見守りのボランティアが訪問するときのお話のきっかけとして、このチラシを持っていきます。ご本人がいなければ、このチラシの下に名前とメッセージを書いてポストに投函して、繋がりづくりのきっかけとして作っているチラシです。

**構成員** 認知症だと思っていたら、その方は耳が聞こえないだけだったということもありました。難聴のパンフレットはすごく勉強になりました。

今回パンフレットに、福祉用具プラザ北九州には集音器をいろいろ置いてありますよ。と書かれていますが、集音器もいくつか置いてあるのですか。

**事務局** 種類は少ないですけれども置いておりますので、お試することはできます。

**構成員** 補聴器をつけたとしても、リハビリには数週間から 3 ヶ月程度かかるということを啓発することは、すごく重要なのかなと。難聴については知らないこともあると思うので、本当すごく勉強になるなと思いました。このパンフレットは、少しいただくことはできるのですか。

**事務局** こちらのチラシは、ご希望があるところには郵送でお送りしています。セルフチェックという形で、気になったところにチェックをつけて、そのまま耳鼻科の先生のところに持って行って相談したらいいですよというご案内をすることが多いです。

ホームページの方にもチラシは掲載しております。

支援者向けテキストは 12 月 26 日に掲載

**構成員** 認知症に関する意見ですが、認知症月間ということで、市ではPRの動画とかを作成されて、幅広い年代層の方達の啓発をされているが、行政の枠だけではなくて、構成員の団体も広く一緒に呼びかけるようなことができたら、もっと広がっていくのではないのでしょうか。

**構成員** 市は、児童を対象として認知症のサポーター養成講座を行っています。ノルウェーの認知症視察研修に行ったときに、10分くらいの幼児向けの認知症のアニメがありました。アニメを取り入れると分かりやすいかと思いましたので、検討していただけたらなと思います。

**代 表** ご意見をいただきました。その他、認知症月間についてご意見ありませんでしょうか。

**構成員** 認知症にやさしいまちづくりをしているよってというアピールってすごく大事なことだと思います。実は理解を持っている人もたくさんいて、その人達がいるというところもアピールしていけないかなあと考えています。

**構成員** 今回説明のあった「しあわせ長寿プラン概要版」のなかで、いいなと思ったのは、「高齢者の皆さんに取り組んでいただきたいこと」という記載があること。社会参加だとか、地域で高齢者の活躍できるというところを、皆さんも何かできますよ、認知症になっても何かできますよっていうところ、

やっぱりどんどんこうアピールしていくというか、そこはすごく大事なことだと思います。

**代表** 貴重なご意見ありがとうございました。たくさんのアピールの方法がありますが、今の若者の方へ PR 方法や情報の受取方でご意見ありましたらお願いします。

**構成員** 学生は、ホームページとかで、自分から情報を探しに行くということあまりしていないなど今のお話を聞いていて思いました。

SNSのInstagramだったりツイッターだったりだと、自分が探していない情報も飛び込んできたりすることもあるので、若者が使っているようなSNSでも呼びかけていくことで、若い世代にも広まってくるかなと思いました。

**代表** まさしくその通りでございまして、今後、このようなこともご検討いただければと思います。その他ございませんか。

**構成員** 小学校の学童で、認知症サポーターの養成をしたということだが、今回小学生に講座をするにあたって、どのような内容だったのかということ、小学生の反応がどうだったかっていうところを教えてくださいませんか。

**事務局** 開催のうち一部の講座での反応を踏まえた回答となります。

低学年のお子さんも、高学年のお子さんもいらっしゃるのので、なるべくわかりやすいように、ストーリーを交えたパワーポイント等を使って認知症の人のことをわかりやすく説明をしたときいています。

その時のお子さんたちの様子は、熱心にメモをとっているお子さんがいて、「すごく大切なお話をしてもらった。」「お年寄りについて、知らないこといっぱい教えてもらってよかった。」などの感想を述べていました。

**構成員** 令和6年度、若年性認知症支援、支援者向け研修ということで、とてもよいことだと思っております。最近企業を回っていて、企業の課題として一番初めに上がってくるのが、人材不足。人材が取れないならば、高齢になっても働いてもらえる仕組みを作ろうとしている企業もあります。認知症になっても働いてもらう場合、中堅企業、どこに相談していいのかなど、情報がなかなかない状況です。

なので、この研修について非常にいいことだと思っております。この中で個

別相談をやるというように書いてありますので、希望者はいるのではないかなと思っています。

**構成員** 北九州市では、認知症ご本人が希望大使になるような制度はないのでしょうか。もう一点、ある一定の年代になったら認知症の検査をできるようにならないでしょうか。

認知症初期集中支援チームで、医療に結びつけたり介護保険に結びつけたりということは今できているのかどうか、お尋ねしたいと思います。

**事務局** 希望大使の件につきましては、現在、福岡県の方で、希望大使の認定に向けた取り組みについて検討が始まっているところです。福岡県と連携しながら考えていきたいと思っています。

認知症の健診ということについては、今のところ行っておりませんが、当課においても認知症のチェックシートなどを、いろんなところで配布しております。

後期高齢者の健診、75歳以上の方は、福岡県の後期高齢者広域連合が行っている健診の質問票の中に、認知症に関する質問項目があります。

受診した病院で、そういったところについての支援や、アドバイス等が受けられているのではないかと考えおります。

初期集中支援チームの件について、北九州市の場合は、地域の先生方などのご協力により、医療や介護につなげる取り組みを行っております。

また、地域包括支援センターが、地域の先生の方に往診等により、解決している事例も多くあると伺っています。

**構成員** 往診をしていただけるということで、希望が見えました。

**構成員** 一番基本的なところはやはりご本人の意思。これを無視して何も進まないのも、ある程度本人を説得するということは、根底にはあると思います。本人の希望をどうやって育てるといえるのか、そこに即して生活してあげるかというのが大前提なので、往診に行って、話をするという形になろうと思います。

**代表** 受診については、基本的に診療となりますと、本人の意向を確認することが大切で、いろいろな方と相談しながら進めていくということですね。他にございますか。

**構成員** 認知症に関する研修があまりないのではないのでしょうか。職員の教育をしていく必要があると思います。

**構成員** 認知症の研修は結構、県からの委託もあってやっているのですが、現状、最初にやっていた頃よりも、集まらない、最近は全くないですねっていうことが多い。だから、なかなか進んでないってことが現実だと思うのですね。もっとわかりやすいような認知症の研修も必要かなと私も思っています。

**代 表** この件に関しまして、研修の機会を増やしていくこと、教育は非常に重要だと思っております。意識を変えていかないといけないなと思っておりますので、引き続きよろしくお願ひしたいと思ひます。その他ありませんでしょうか。

**構成員** 市内の認知症カフェの数ということですね、令和 8 年 50 ヶ所ということで現在、令和 5 年で 33 ヶ所と。なかなか進まない何か原因があるのでしょうか。

**事務局** カフェをボランティアで行っていただいていることが多く、場所や会費など運営面で難しい部分があるようです。また、コロナの影響もあり、令和 4 年度は半数以上が休止していましたが、今年度、ほぼすべてのカフェが運営再開されています。今後 50 ヶ所を目指して、できる範囲の支援を行っていきたいと考えています。

**構成員** 高齢者のサロンはすごく増えています。認知症カフェをするっていうのに、ちょっとハードルを感じているところもあるのではないかなと考えています。カフェを運営できる人材の育成も大事ですし、今ある高齢者サロンの中で、認知症のカフェができるっていうところを増やしていくっていうところも、大事ではないかなと考えています。

**代 表** ありがとうございます。その他ありませんでしょうか。

**構成員** 認知症サポーターの資料で、基礎編と応用編とあるみたいですが、応用編の方が、企業さんとか市職員さんは0となっているのは何か事情があるのでしょうか。

**事務局** 令和5年度の応用編の実績は市政だより等を使って募集を行い、一般の市民の方が申し込んだ場合のものになっています。(市職員が個人的に受講した場合も含まれます)

令和5年度は、市職員向けとした研修は開催しておらず(令和6年度は開催済)、企業側からの依頼もなかったため、0という結果となっています。

**構成員** 本当はこういう企業とか、現役世代の方にもっと知識というか、広げていっていただけると、もっと認知症にやさしいまちになっていくのではないかと考えています。よろしくお願いします。

**代 表** 本日、北九州市から取組についてたくさんご説明をいただいたところです。難聴について、かなり意見をいただき、気づきの点も非常に大きかったと思います。今後も継続して啓発していただければと思います。

また、認知症についてもたくさんご意見をいただきました。市における認知症施策に生かしていただければと思います。

本日お配りしました資料等に関しまして、何かご意見等ありましたら、事務局にお寄せください。

それでは、本日の会議はこれで終了となります。